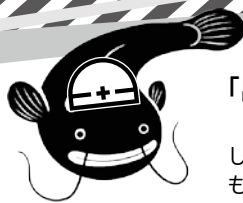


『出水期』に 備えを!

今すぐ



「出水期」とは...?

6月から10月までの集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期を「出水期」といいます。日頃から、「もしも」に備えて避難方法、家庭での備蓄、災害時の情報収集などについて改めて確認しておきましょう!



洪水ハザードマップで危険箇所の確認をする

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が氾濫した場合に浸水する範囲や深さ、浸水が継続する時間、家屋倒壊の危険性のある区域などを掲載したものです。

河川の氾濫による浸水想定区域を把握するとともに、ご自宅の階数やハザードマップの浸水深を考慮して、避難場所、避難経路などをあらかじめ決めておきましょう。



▲洪水ハザードマップ



各家庭で備える「土のう置き場」を確認する

台風の襲来などにより、土地、建物などに浸水が予測される場合には、前もって土のうを積んでおくことで、被害を軽減できます。

市では、自由に土のうを取り出せる「土のう置き場」を設置しています。浸水に備え、各自でお持ちください。



▲土のう置き場



←土のう置き場はこちらから



情報の取り方を確認する

災害時は、あらゆる情報の中から正しい情報を迅速に得ることが重要です。いざというときに確認ができるよう、災害時に使用する情報の取り方を事前に確認しておきましょう。

吉川減災ナビのダウンロードや吉川市メール配信サービスに登録することで、市からの災害情報や緊急のお知らせなどを早く知ることができます。

吉川市メール
配信サービス



吉川市防災情報
Twitter



吉川減災ナビ
[iOS用] [Android用]



- 防災行政無線電話応答サービス(放送内容の聞き直し) ☎983・6430
- NHK、テレビ埼玉のデータ放送



避難情報の確認をする

災害時に自治体や気象庁から発令される避難情報などは、5段階の警戒レベルに分けられ、それぞれ住民が取るべき行動を表しています。

警戒レベル4の「避難指示」までにすべての方が危険な場所から避難する必要があります。どの段階でどのような避難行動をとるか、家族や地域の方と事前に話し合っておきましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁) 早期注意情報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	



洪水時の避難行動

